

2024年度の主な実施項目と2025年度の目標・計画

大項目	小項目	2024年度の目標・計画	2024年度の主な実施項目	目標(実績)	結果(実績)	評価	2025年度の目標・計画
組織統治	CSRマネジメント	・実効のあるCSR推進会議の継続	経営幹部への活動実績の報告 活動推進担当への全社活動内容の浸透			△	・実効のあるサステナビリティ活動の推進
	コーポレート・ガバナンス (内部統制)	・意思決定プロセスの定期的確認と必要に応じた見直し	権限基準を改定した総務課にて決議(2月) 設備投資の経常会議審査件数の見直し、経営会議決定事項の適正化と意思決定の迅速化を図った。			○	・意思決定プロセスの定期的確認と必要に応じた見直し
		・内部監査計画の完了と是正の計画的推進	・計画：15部署 実行：10部署(5件は該事情で2025年度に延期) 改善：15件を指摘した。処置済み：1件。			○	・内部監査計画の完了と是正の計画的推進
		・東芝監査プログラム実施 (RAP・J-SOX) 内部統制再構築PJの継続	・RAP：改善事項1件で改善完了済 ・ペーパーランサム見直し3件 完了済 ・内規改定見直し3件 完了済 ・J-SOX：指摘事項なし ・現金同等物 対策実施6部門の報告書作成			○	・東芝監査プログラム実施 (RAP・J-SOX) ・内部統制強化活動の継続的推進
	ステークホルダーとの対話	・TeamSurveyの実施、TeamSurveyフィードバックの実施	◆TEAMサーベイの実施 ・回収期間：12月3日～12月13日 ・結果公表：管理部門(12/25～) 従業員向け 1/20～ ◆課題改善アクション：経営トップと従業員の直接対話 計6回 129名出席			○	・TeamSurveyの実施、TeamSurveyフィードバックの実施
	人権	人権の尊重・差別の禁止	・人権教育の継続実施 (採用時、転入受入時、人権週間、管理職研修時)	・人社内の導入教育：8回 33名に実施 ・管理職候補者および新入社員教育：1回 11名に実施		○	・人権教育の継続実施（採用時、転入受入時、人権週間、管理職研修時）
労働慣行	雇用の安定	・高齢者活用施策の実施	・60歳定年後の嘱託再雇用各実績16名			○	・高齢者活用施策の実施
	多様性の尊重	・障がい者雇用率(2.3%以上)の維持	・障がい者雇用率3.35% (2025年3月末時点)	2.3%以上	3.35%	○	・障がい者雇用率(2.3%以上)の維持
	多様な働き方の支援	・働き方改革への対応 ・育児(ハーフタイム)・介護休暇制度、短時間勤務制度が取得 ・長時間労働の削減、ハイブリッド勤務の推進	・短時間勤務制度利用者：3名 ・育児(ハーフタイム)：2名 ・長時間労働の削減、ハイブリッド勤務の推進			○	・働き方改革への対応 ・育児(ハーフタイム)・介護休暇制度、短時間勤務制度が取得 ・長時間労働の削減、ハイブリッド勤務の推進
	人財育成	・若手社員の計画的な育成の推進 ・当社に必要な業務知識に関する新教育の推進 ・中長期計画に基づく社内ローテーションの推進	◆教育委員会：2024年5月23日開催 ◆教育計画：2024年6月1日公開 ■e-learning ・東芝グローバル教育体系・行動基準教育及びサステナビリティ経営(5月)：504名 ・(TIS) 理想教育(5月)：509名 ・計画外：外為オンラインスクール育成教育(8月)：50名 ・内規改定見直し(1月)：496名 ・情報セキュリティ教育(1月)：468名 ・重要な令和新規(企業リスク＆サプライズ法)輸出管理＆電気法(1月)：468名 ・統合MS内規監査員育成教育(E-M-S：20人)／OHSMS：26人／GMS：24人)			○	・若手社員の計画的な育成の推進 ・当社に必要な業務知識に関する教育の推進 ・中長期計画に基づく社内ローテーションの推進
	従業員の安全と健康	・ISO45001：2次版サービスランス 1. 自主的安全活動の深入 ①安全活動実施の徹底 ②安全活動実施の充実と意識の向上 ③リスクアセスメントの継続的改善 2. 自主的健康活動の充実 ①生産性向上への取り組み ②ストレスの気きと対応力 3. 防災体制の整備	■健康衛生状況 午睡実施率、通勤上災害1件 ※うつ病特例企画実施指定1件 ■主な安全活動 ①「安全活動 安全会議に関する取りまとめを共有する会」 ・各種トロール会議（事業部相互トロール、現地工事バトロール、(拠点) 安全巡回） ・東芝グローバル重大災害発生防災調査（重量作業、電気取り扱い作業、UPS火災） ・安全文化強化セミナーの実施開催 ・東芝の作業別則の周知（挟まれ巻き止め防止） ・全社教育講習 ・職場改善ツール「Pep Up運動開始（各種イベントとの連携）」 ・健常経営業務支援対象外拠点の管理体制整備 ■防火・防災 ・各種訓練実施（防火防災訓練、災害対策本部立上訓練屋外消火栓訓練）			○	・ISO45001 1. 安全活動 ①健全健康文化の醸成 ②「労働災害・事故が多い会社」イメージからの脱却 ③健全な労働環境のためメッセージを高める 2. 健康 ①生活習慣改善の取り組み ②従業員の心と身体の健康づくりに向けた具体的対策 3. 防火・防災 ・革新的防災体制整備
	環境マネジメント強化	・環境汚染の予防（環境構造物指針準拠率100%確保） ・コントラクタ一派承認（現地確認による産廃業者管轄化） ・現地に根ざした環境活動取組の検討 ・30 by 30に向けた取り組み推進	・(現地) 事業所法令遵守状況確認を9箇所、処理委託先の現地確認を19箇所実施 ・(現地) ISO22000次版審査で「100%の評価で認定を獲得」 ・統合MS内部監査実施 指導事項：観察：10件 対応：18件 ■環境活動 ・現地に根ざした環境活動取組の検討 ・地盤改良活動月1回 計12回実施 ・ビオトープの植栽整備 ・ビオトープの点検（頭、トンボ）飛来回数 10回	環境構造物 指針準拠率 100%	環境構造物 指針準拠率 100%	○	・環境汚染の予防（環境構造物指針準拠率100%確保） ・コントラクタ一派承認（現地確認による産廃業者管轄化） ・現地に根ざした環境活動取組の検討 ・30 by 30に向けた取り組み推進
	環境に配慮した事業プロセス	・資源の有効活用：再生資源化率8.3%以上 ・2030年度カーボンニュートラルに向けてのCO2排出削減	・資源の有効活用：再生資源化率8.6% ・2030年度カーボンニュートラルに向けてのCO2排出削減 2023年度 1.49t CO2に対し、2024年度 1.30t CO2非化石資源導入により削減	再生資源化率 8.3%以上	再生資源化率 8.6% 9%	○	・資源の有効活用：再生資源化率8.0%以上 ・2030年度カーボンニュートラルに向けてのCO2排出削減 (CO2排出量1125t)
	環境コミュニケーション	・サステナビリティ・取組内容の社外PRでの公開（期中更新） ・資源循環活動会員登録システム(スマートへの参加) ・スマスマティアを通じた環境広報および広報の継続	・サステナビリティ活動公開 … 社外HP公開(10月) ・資源循環活動会員登録システム(スマートへの参加) ・スマスマティアを通じた環境広報および広報の継続			△	・サステナビリティ・取組内容の社外PRでの公開（期中更新） ・資源循環活動会員登録システム(スマートへの参加) ・スマスマティアを通じた環境広報および広報の継続
	リスク・コンプライアンス	・年度リスク・コンプライアンス施策の立案と実行 CSRと倫理ミラーリングの実施	・リスク・コンプライアンス委員会を開催（実例：5月・12月） ・コンプライアンス職場ミーティング実施(12月～1月)：実施部門：37部門（参加率100%） ■e-learning ・東芝グローバル教育体系・行動基準教育およびサステナビリティ経営(5月)：504名 ・東芝グローバル重大災害発生防災調査(6月)：509名 ・計画外：外為オンラインスクール育成教育(8月)：50名 ・内規改定見直し(1月)：496名 ・情報セキュリティ教育(1月)：468名 ・お客様満足度向上教育および技術研修教育(12月)：468名 ・重要な令和新規(企業リスク＆サプライズ法)輸出管理＆電気法(1月)：466名			○	・年度リスク・コンプライアンス施策の立案と実行 ・CSRと倫理ミラーリングの実施 ・リスク・コンプライアンス開催e-learning教育の実施
	公正な競争・取引の徹底	・購買請求部門教育巡回実施：10部門	10部門の目標に對し、5部門の実施になった。下講法の改正が改ざえていたため、その進捗の確認よりスピードが緩くなっていたが、25年度もその状況を見据えて計画を継続したい			○	・購買請求部門教育巡回実施：7部門
	サプライチェーンでのCSR推進	・東芝グループ共通のサプライチェーンにおけるCSR推進策の実施(人権取り組みの範囲) ・東芝グループグリーン開運方針に基づく取引先への問合せ回答	・東芝グループ共通のサプライチェーンにおけるCSR推進策の実施(人権取り組みの範囲) ・東芝グループグリーン開運方針に基づく取引先への問合せ回答			○	・東芝グループ共通のサプライチェーンにおけるCSR推進策の実施(人権取り組みの範囲) ・東芝グループグリーン開運方針に基づく取引先への問合せ回答
公正な事業慣行	情報の保護・管理	・情報セキュリティ教育の実施 ・情報セキュリティ要員実施の実施 ・サーバ、社外ホームページのセキュリティ診断の実施 ・携帯型記録媒体及びモバイル用パソコン顧問の実施 ・Wi-Fiスマートサクセス診断の実施	・新入社員への情報セキュリティ教育を会議室とオンライン会議形式の組み合わせにて実施(33名) ・情報セキュリティ・管理・個人情報保護、自己監査を(11月)に実施し、問題なし。 ・毎月各パソコンの定期的実施。問題なし。 ・携帯型記録媒体のセキュリティ診断を(6月)実施し問題なし。 ・社外ホームページセキュリティ診断を(6月・12月)に実施し問題無し。 ・サーバのセキュリティ診断を毎月実施。 ・Wi-Fiスマートサクセス診断を(6月)実施。対象者：76人中51人(10.7%)がクリックしてまい、その後クリックした人を対象に11月教育を実施。全員が講座、1月Wi-Fiスマートサクセス診断を実施。対象者：35人中25人中7人(16.7%)がクリックしてまい、その後クリックした人を対象に3次教育を実施。全員が講座。 ・Wi-Fiスマートサクセス診断を(5月)実施。対象者：76人中52人(6.7%)がクリックしてまい、その後クリックした人を対象に6月教育を実施。全員が講座。 ・Wi-Fiスマートサクセス診断を(5月)実施。対象者：76人中52人(6.7%)がクリックしてまい、その後クリックした人を対象に6月教育を実施。全員が講座。 ・Wi-Fiスマートサクセス診断を(5月)実施。対象者：76人中52人(6.7%)がクリックしてまい、その後クリックした人を対象に6月教育を実施。全員が講座。 ・Wi-Fiスマートサクセス診断を(5月)実施。対象者：76人中52人(6.7%)がクリックしてまい、その後クリックした人を対象に6月教育を実施。全員が講座。			○	・情報セキュリティ教育の実施 ・情報セキュリティ要員実施の実施 ・サーバ、社外ホームページのセキュリティ診断の実施 ・携帯型記録媒体及びモバイル用パソコン顧問の実施 ・Wi-Fiスマートサクセス診断の実施
	知的財産の保護	・特許的特許の出立と特許権利化の推進	特許出願、権利維持を実施			○	・特許的特許の出立と特許権利化の推進
	品質・サービスの品質向上と安全性の確保	・製品・サービスの品質向上と安全性の確保	・統合マネジメントシステムの継続的改善 ・[商品S] 統合MS認証範囲見直し			○	・統合マネジメントシステムの継続的改善 ・統合MS認証範囲見直し ・(常設) 統合MS外部認証取得準備
	品質事故・不具合発生時の対応	・損失費の把握及び改善策の実施	・損失費の全部門実績把握(事故費・仕損費)			○	・損失費の把握及び改善策の実施
	お客様満足の向上	・顧客とのコミュニケーションの向上 ・顧客満足度向上への検討及び実施	・顧客満足度把握と維持 ・外部表彰：8件			○	・顧客とのコミュニケーションの向上 ・顧客満足度向上への検討及び実施
	コミュニケーションの対応 (消費者課)	・社会貢献活動	・東芝グループボンティアデイズに対応した施策の実施 ・地域清掃活動			○	・東芝グループボンティアデイズに対応した施策の実施 ・地域清掃活動
	地域社会との関わり	・近隣住民との交際継続(年1回) ・地域主催行事への協力(年2回) ・地域団体への参加(防災、交通安全、安全衛生等)	・社会福祉協会会員の賛助会員(7月) ・横浜市主催イベント(「ども『エコ活』」大作戦!2024)事業に協賛 ・令和7年(第18回) 企業会員の皆様と町内会役員の懇親会に出席(2月)			△	・近隣住民との交際継続(年1回) ・地域主催行事への協力(年2回) ・地域団体への参加(防災、交通安全、安全衛生等)